

1億人ではなく
100億人を見据えた
農林水産・食品産業へ

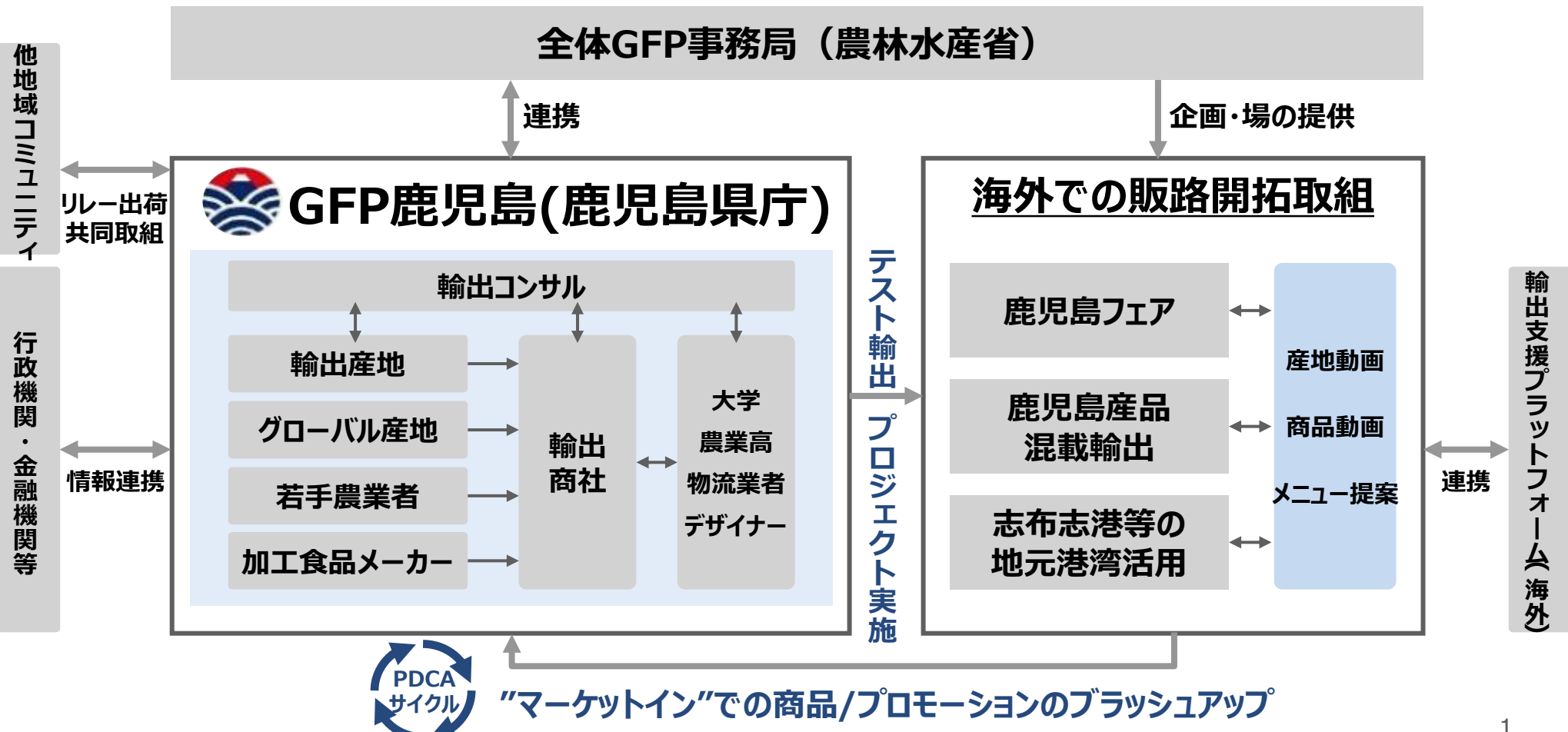
GFP鹿児島フォーラム in 大隅

アクセント株式会社
ビジネスコンサルティング本部
シニアマネジャー

小栗 史也

“GFP鹿児島”のコンセプト

鹿児島県庁が中心となって“GFP鹿児島”を組成し、鹿児島から輸出を目指す皆様の輸出チームづくり～海外での輸出取組を共同実施しながら、一気通貫でPDCAを回せる仕組みを構築。



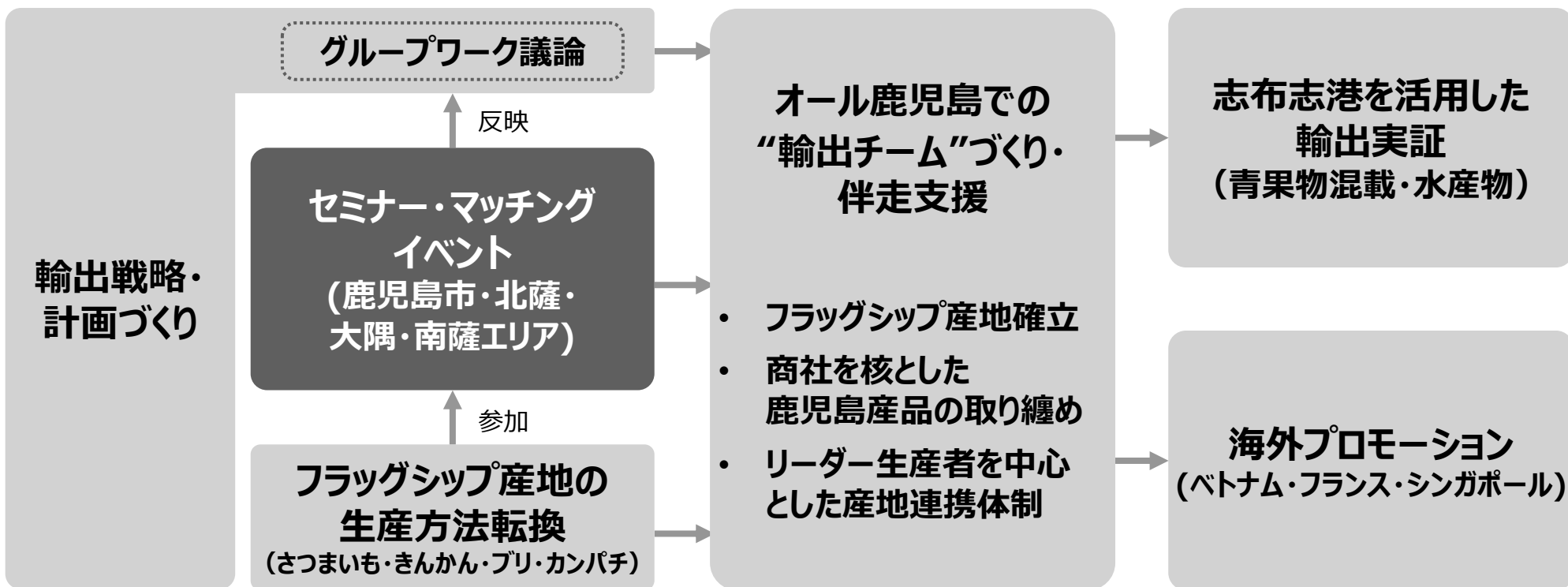
GFP鹿児島を取組全体像

輸出プレイヤーの掘り起こし・輸出チームづくりを行った上で、志布志港を活用した輸出実証・ターゲット国での海外プロモーションに繋げる。

戦略に基づくプレイヤー掘り起こし・大ロット輸出に向けた生産転換

“輸出チーム”づくり・伴走支援

アクションプランの実行



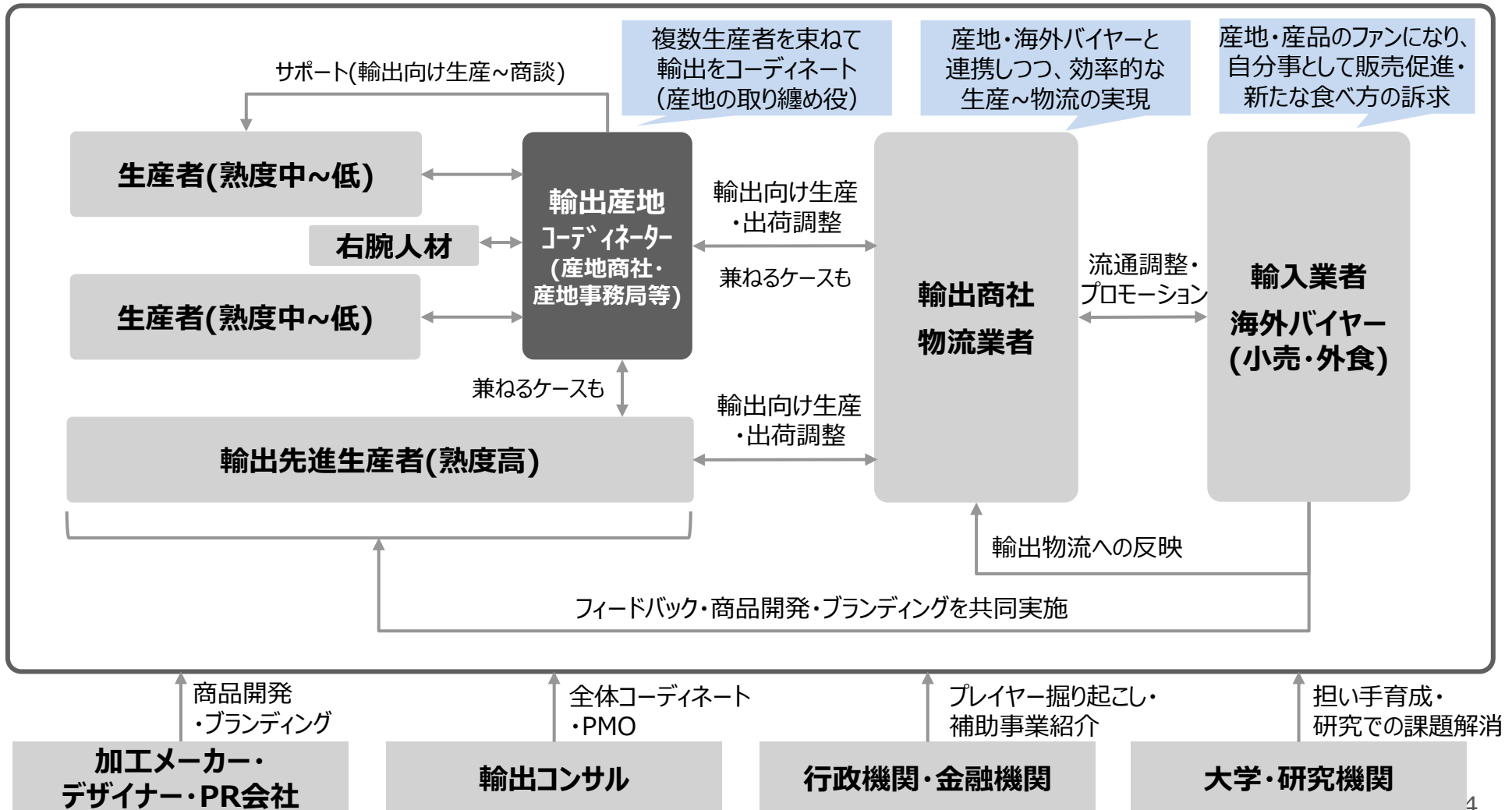
セミナー・マッチングイベントの今後の進め方（予定）

輸出ポテンシャルが大きく、自治体の熱意も高い有望産地である県内4エリアにおいてイベントを開催予定。

	開催地	時期	実施内容
	鹿児島 全域	・ 鹿児島市 6/8	<ul style="list-style-type: none">・ 先進事業者・輸出会社による輸出セミナー・ グループワーク（グループ商談）<ul style="list-style-type: none">➢ 品目・地域ごとに鹿児島の輸出の未来をつくるために必要な施策・取組を検討➢ 輸出取りまとめを担うメンバーを中心にアクションプランを策定➢ 会社・バイヤーとの商談にも繋がるグループ設計を行う・ 産地ツアー&試食会兼交流会
	南薩	・ 指宿市 9/12	
	北薩	・ 薩摩川内市 9/13	
	大隅	・ 志布志市 11/28	

輸出における“チーム鹿児島”づくりの重要性

商社・海外バイヤーを含めた“チーム鹿児島”づくりを通じて、複数産品提案・サプライチェーン構築・持続的な輸出共創が可能。



“チーム鹿児島”事例 ～鹿児島ブリ・カンパチ輸出

海外バイヤー・国内商社・水産養殖/加工業者がチームを組み、行政・コンサルと連携して、現地ニーズに合った商品開発を推進。

海外(台湾)バイヤー・国内商社が水産養殖・加工業者とチームング
2日間行程で視察・試食・討議を一気通貫で実施しPB開発を目指す

生産現場視察



加工場視察・試食



行政・コンサル交えた討議



- 主要原料魚種の養殖現場にて水揚げ・給餌の様子等を視察
- 品質向上・環境負荷低減・食の安心安全性担保に係る工夫等、生産のこだわりを体感

- 加工場内を案内いただき規模・設備スペックを確認
- 既存商品/サンプル品の試食も行い異なる味付けの可能性等をメーカーと意見交換

- 産地・メーカーの前では言いにくかった意見含め率直に討議
- 原価率を下げる工夫等、商社・行政が一体で協議する必要がある事項を詰める

GFP鹿児島フォーラムin大隅 実施内容

輸出セミナー



輸出先進事例の共有・輸出機運醸成

- GFP鹿児島の方向性・輸出プレイヤーの先進的な輸出産地づくり・輸出取組を紹介
- 大隅における鹿児島産品の輸出の現状・可能性・輸出拡大に向けたヒントを共有

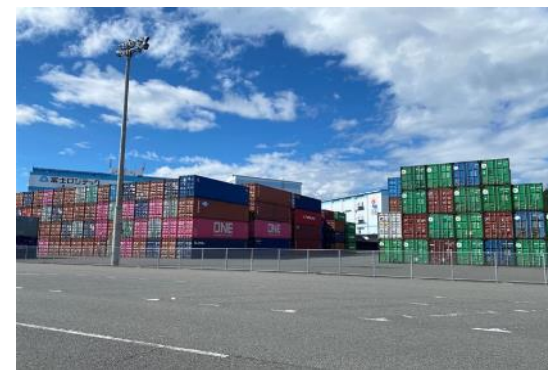
グループワーク



輸出チームづくり・輸出人材育成活用に向けた検討会

- 品目ごとにグループワークを行い、鹿児島産品の輸出の目指すべき方向性・課題・必要な施策・取組を共創
- 輸出人材育成・活用の視点で輸出事業者が抱える課題・必要な施策を議論

志布志港視察



志布志港視察

- 鹿児島県県東部地域の物流拠点港湾として整備が進められる志布志港の視察を行い、地方港活用を促進するきっかけを提供

GFP鹿児島フォーラム in 大隅 セミナー登壇者

- 鹿児島県庁 農政課/港湾空港課
- 垂水市漁業協同組合（生産：カンパチ）
- 堀口製茶/和香園（生産・販売：緑茶）
- 村商/新村畜産（生産・販売：和牛）
- イーキューワールドワイド（物流）

GFP鹿児島フォーラム in 大隅 参加商社

鹿児島・宮崎の有力商社の方にご参加頂いており、グループワーク・交流会を通じた輸出チーム・きっかけづくりをお願いしたい。

- 弓場貿易（鹿児島：アメリカ・カナダ等）
- シングローバル（鹿児島：香港・マカオ等）
- 幸洋産業（鹿児島：マレーシア・シンガポール等）
- MKJグローバルワークス（宮崎：中東・アメリカ等）

皆様とご一緒させて頂きたいこと

- 生産トップランナーが集約&物流拠点：志布志港が存在する大隅地域を「**輸出イノベーションハブ**」として、最新の輸出チャレンジをご一緒したい
 - 【生産】輸出を前提とした生産・大規模化・有機生産・域内メーカーと連携した加工品開発、輸出を目指す生産者間連携
 - 【流通】集荷拠点の高度化・包材の最適化/統一・志布志港の有効活用（博多港とのすみ分け）・タイ/ベトナムのネクストマーケット開拓
 - 【体制】行政バックアップ体制の確立（県・市・大隅加工技術研究センター・地銀等）・志布志港協議会による支援体制
- 農林水産物・食品はもちろんのこと、観光資源・人材確保(副業人材等)を含めた大隅地域の魅力の再発見・海外に向けた訴求・インバウンド連携

皆様とご一緒させて頂きたいこと ~志布志港活用

現状・課題

取組方針

青果

- CAコンテナの使い勝手が悪い
 - 回漕費が嵩み、国内輸送費の高騰はあるものの、トータルで神戸比でやや割高・キャンセルリスク大
 - 輸送時間は、シンガポールは6日、タイは2日神戸比で長い

- 定期航路のある台湾向け輸出が限定的（農薬規制も厳しい）
- 海上輸送日数が長く、博多港の利用または青果物輸出を諦めるケースがある

- RFコンテナ×鮮度保持技術
- CAコンテナ競争力のある国に選択・集中し、梱包規格統一等の物流最適化

- 台湾輸出プレイヤー洗い出し・連携強化
- 志布志港→那覇港→那覇空港→海外のShip&Air取組の加速
- RFコンテナ輸出可能品目の輸出拡大（かんしょ・かんきつが代表的）

皆様とご一緒させて頂きたいこと ~志布志港活用

現状・課題

取組方針

水産

【大ロット】

- ロット拡大し易さ・既存流通の観点で博多・神戸への集約輸出が多い
- 博多対比で輸送費割高、長い輸送時間
- 志布志周辺地域商社・生産者にとって、博多港よりも検品等、コントロールし易い

畜産

【小口混載】

- 輸送費は全世界向け共通で割安
- 輸送時間はシンガポール・香港向けで神戸対比で4-5日長い。遅延リスク大

加工食品

- **志布志港周辺を拠点とする地域商社・直貿生産者による利用拡大**

- **特に大ロット輸出が期待できる、ブリ・和牛・豚肉等との扱い可能性の模索**

- **加工食品でも飲料等は可能性あり**

- **小口混載サービス活用事業者拡大**



GFP鹿児島



鹿児島から世界へ！輸出に関心のある鹿児島の皆様へ

- 輸出を着手/検討する上で“輸出に関わる情報”を効率よく入手できる！
- 県内の生産者・メーカー×輸出商社×支援機関との“輸出チームづくり”ができる！
- 取組段階に応じた商社・海外バイヤー・コンサル等との“ビジネスマッチング”ができる！

登録
無料

参加を希望する方はまずはメンバー登録を！

[http://www.pref.kagoshima.jp/ag36/
yushutu_gfpkagoshima.html](http://www.pref.kagoshima.jp/ag36/yushutu_gfpkagoshima.html)

鹿児島県 農政部 農政課 かごしまの食輸出・ブランド戦略室
(TEL) 099-286-3093

(MAIL) yusyutsu@pref.kagoshima.lg.jp



詳しくはコチラ！